

夢のコラボ！花火・ドラゴン×中(日)ドラゴンズ

新商品「ドラゴンズ・ドラゴン」実現へクラウドファンディング開始

4月17日(月)から。元気のない国産花火とドラゴンズが組み復活を目指します。



2017年4月17日(月)、創業89年・(株)太田煙火製造所(おおたえんかせいぞうしょ・代表取締役・太田恒司、岡崎市柱町)は、クラウドファンディングサービス「CAMPFIRE」にて、同社の代表商品である噴出型花火「ドラゴン」と、プロ野球「中日ドラゴンズ」とのコラボ商品を実現するためのプロジェクトを開始しました。2016年、生産中止から復活したことで話題となった「ドラゴン」の、クラウドファンディング第二弾。苦境に立たされる国産花火と、本来の力を発揮できていないドラゴンズがタッグを組むことで復活を目指すとともに、ひきつづき国産花火の窮状を知ってもらうために、ビジネスマンや経営者をターゲットに広く支援を募ります。

■背景／中国産に押される国産花火×本来の力が出ているドラゴンズ

＜国産花火＞

- ・日本市場に出回る花火の9割以上が中国をはじめとする外国産
- ・バブルの頃、国内生産だけではニーズに応えきれず中国に製造を頼る
- ・昭和50年頃をピークに花火の需要は減少。国産よりも安価な外国産の花火が主流に。
- ・経済の悪化と少子高齢化、花火をする場所の減少など花火をする機械が少なく。
- ・純国産の花火ではコストが合わず、廃業してしまう国内メーカーも

＜中日ドラゴンズ＞

- ・2011年のペナントレース優勝後、本来の力が発揮できていない
- ・2016年は最下位に
- ・2017年後もオープン戦以降黒星が目立つ

■プロジェクト概要／「ドラゴン」×「ドラゴンズ」のコラボ商品を実現したい

＜目的＞

- ・国産花火の窮状を多くの人に知ってもらい、花火をする機会を提供したい
- ・プロジェクトを盛り上げることでドラゴンズの明るい話題をつくり、中日打線に”火を噴かせ”たい

＜経緯＞

- ・2016年のドラゴン復刻の際、熱狂的なドラゴンズファンであるアナウンサーから「ドラゴンズの調子が悪く、ドラゴンの復活にあやかりたい」という理由から取材を受けたこと。

- ・2017年に入りコラボ商品を企画し、球団へ提案。了承を得て、サンプルを作るにあたっては球団ロゴやドラゴンのデータもご提供いただく。

### ▼▼▼プロジェクト概要▼▼▼

利用サービス名：CAMPFIRE

プロジェクト名：

「中日ドラゴンズ×花火のドラゴン」  
のコラボを実現し、中日打線に火を噴かせたい！

<https://camp-fire.jp/projects/view/26730>

目標金額：1,600,000 円

開始日：2017年4月17日（月）

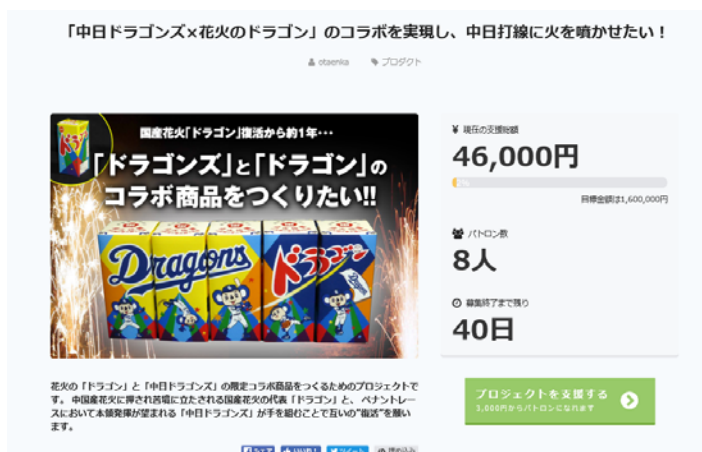
終了日：2017年5月27日（土）

商品数：限定 800 パック

（1 パック 5 種類×2 個  
=計 10 個入り）

価 格：4000 円（税別）※プロジェクト達成後、市販する際の金額

リターン：ドラゴンズ・ドラゴン完成品、パッケージへの名入れ、完成披露会への参加権など  
※支援金額に応じて設定



### ■企業概要

昭和3年創業。岡崎の地で89年続く花火メーカー。国産花火にこだわり、代表である太田恒司が火薬の配合や「てん薬（火薬を筒に詰める作業）」までをすべて手作業で行っている。いわゆる噴出型花火を得意としており、昭和25年に発売した「ドラゴン」は噴出型花火の代名詞となり、今では噴出型花火を総称して「ドラゴン」と呼ばれたりする（平成20年に生産中止）。「日本を代表する花火」とも言われる。



### ■事業主概要



代表取締役

太田 恒司

太田煙火製造所の5代目社長。「おかざき匠の会」会員。  
平成23年度「愛知県郷土伝統工芸品優秀技術者表彰」受賞。

花火業界を、そして中部地方を元気にするためのプロジェクトです。  
どうか貴媒体にてご取材賜りますようお願いいたします。

問い合わせ先：株式会社 太田煙火製造所

電話：0564-51-2801

担当：代表取締役 太田恒司

住所：愛知県岡崎市柱町字上荒子 25-1

ウェブサイト：<http://ota-hanabi.net/> ※「岡崎 花火 ドラゴン」で検索

●お問い合わせ先：岡崎ビジネスサポートセンターOKa-Biz（岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 2F）

Tel: 0564-26-2231 URL: <http://www.oka-biz.net> 担当：高嶋、松田、堀部、（水・日曜日を除く / 9:30~17:00）